

- 問1 11世紀末、ローマ教皇が呼びかけたことにより、イスラム勢力の支配下にあった聖地を奪還する目的で結成されたキリスト教諸国の軍隊と、その目的地の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 宗教改革軍 — パチカン 2. 十字軍 — エルサレム 3. 十字軍 — メッカ 4. レコンキスター — エルサレム
- 問2 源頼朝が幕府を開いた鎌倉は、防御に適した地形を利用して都市が築かれました。三方を山に囲まれ、南が海に面したこの土地において、外部との交通路として山を切り開いて設けられた通路を何と呼びますか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 宿場 2. 関所 3. 切通し 4. 本陣
- 問3 承久の乱の後の幕府と朝廷の関係の変化について、六波羅探題の役割を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 幕府は朝廷と協力して政治を行うため、話し合いの場として京都に新しい機関を作った。 2. 幕府は朝廷の権威を認め、政治の全権を天皇に返還するために監視役を置いた。 3. 幕府は九州地方の防衛を強化するため、京都を拠点として地方の武士を指揮した。 4. 幕府は朝廷の動きを監視し、西国の武士への統制を強めることで、支配力を全国に広げた。
- 問4 1180年に源頼朝が石橋山の戦いで敗れて安房（千葉県）に渡り、そこから再起して鎌倉幕府を成立させた歴史的背景を踏まえ、その約40年後に起こった承久の乱が日本の政治体制に与えた影響として、最も適切な説明はどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 幕府が朝廷に対して圧倒的な優位に立ち、全国的な支配権を確立する契機となった。 2. 朝廷が幕府の力を認める代わりに、都を鎌倉から平安京へ移すことが決定した。 3. 上皇が政治の実権を握る院政という仕組みが初めて導入されるきっかけとなった。 4. 朝廷が軍事力を取り戻し、幕府を廃止して天皇親政による建武の新政を開始した。
- 問5 1192年に源頼朝が征夷大將軍に任命され、鎌倉幕府が本格的に始動した時期の出来事について述べた文として正しいものはどれですか。幕府が全国の荘園や公領に設置し、土地の管理や年貢の取り立てを行わせた役職名を含んだものを選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 幕府は地頭を設置し、現地の土地管理や年貢の取り立て、治安維持を担わせた。 2. 幕府は六波羅探題を設置し、西日本の荘園における年貢の徴収を直接指揮した。 3. 幕府は守護を設置し、全国の荘園ごとに年貢の取り立てを細かく管理させた。 4. 幕府は侍所を設置し、全国の公領における土地の測量と年貢の割り当てを行った。
- 問6 12世紀末から14世紀前半にかけての日本の状況について述べた文として、時代背景が正しく説明されているものはどれか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
1. 土農工商の身分制度が確立され、200年以上にわたる鎖国政策が実施された。 2. 平城京を中心に、大陸の文化や仏教の影響を強く受けた貴族文化が栄えた。 3. 公家を中心とした政治から、土地の仲介などを通じて武士が実権を握る政権へと移行した。 4. 鉄砲の伝来やキリスト教の布教により、戦国大名による全国統一の動きが加速した。
- 問7 日本の歴史における時代区分のうち、弥生時代や平安時代などの「古代」と、江戸時代を指す「近世」の間に位置する区分を何と呼ぶか。この区分には、武士による政治が本格化した鎌倉時代や室町時代が含まれる。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 原始 2. 戦国 3. 近現代 4. 中世
- 問8 中世の日本の文化に関する説明として、鎌倉時代の事実について正しく述べたものを次の中から選びなさい。 (2015年 富山県公立入試 類似)
1. 運慶や快慶らによって、東大寺南大門に力強い金剛力士像が制作された。 2. 足利義満によって、公家文化と武家文化が融合した北山文化が栄え、金閣が建立された。 3. 足利義政によって、禅宗の影響を受けた東山文化が栄え、銀閣に書院造が取り入れられた。 4. 禅の精神を表現するため、石や砂で自然を表現する枯山水の庭園が多く作られた。
- 問9 鎌倉時代後半、元寇（蒙古襲来）による軍役の負担や分割相続の影響で、多くの御家人が生活に困窮しました。幕府がこうした御家人を救済するために、彼らが売却・譲渡した領地を無償で取り戻させることを命じた法令を何といいますか。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
1. 公事方御定書 2. 徳政令 3. 御成敗式目 4. 武家諸法度
- 問10 日本の歴史の時代区分において、「中世」に含まれる時代の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
1. 明治時代と大正時代 2. 鎌倉時代と室町時代 3. 飛鳥時代と奈良時代 4. 安土桃山時代と江戸時代
- 問11 室町時代の絵巻物には、琵琶という楽器を弾きながら各地を巡り、物語を語り聞かせる「琵琶法師」の姿が描かれています。彼らによって語り継がれ、平氏一族の繁栄から滅亡までの過程を力強い和漢混交文で描いた軍記物語の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。 (2017年 山口県公立入試 類似)
1. 源氏物語 2. 太平記 3. 保元物語 4. 平家物語
- 問12 中世の文化において、『平家物語』などの軍記物語が、琵琶法師らによって全国へ広められた理由や背景として、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 文字の読み書きができない民衆に対しても、語り物という形式をとることで物語の内容を伝えることができたから。 2. 田植えの時期に豊作を祈る伝統的な行事である「田楽」と結びつき、農村部でのみ急速に普及したから。 3. 禅宗の教えを視覚的に広めるための手段として、水墨画の技術とともに武家社会の教育として流行したから。 4. 平氏の功績を称え、朝廷の権威を民衆に広く知らしめるための幕府による国策として推奨されたから。
- 問13 鎌倉時代に大陸から伝来した禅宗が、当時の政治の担い手であった武士の間に広く普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福島県公立入試 類似)
1. 自らの精神を鍛え、悟りを目指すという厳しい修行のあり方が、武勇や規律を重んじる武士の気風に適していたから。 2. 和歌や蹴鞠といった公家文化を否定し、武士独自の新しい娯楽を提供することに主眼を置いていたから。 3. 大規模な寺院を建立することで、領地を治める武士の権威を農民に示すのに最も都合が良かったから。 4. 念仏を唱えるだけで極楽浄土へ行けるという簡潔な教えが、文字の読み書きに慣れていない多くの武士に歓迎されたから。
- 問14 13世紀後半、元との戦い（元寇）での恩賞が不十分だったことや、貨幣経済の浸透によって、多くの御家人が領地を質に入れたり売却したりして生活が困窮しました。こうした御家人を救済することを目的として、1297年に鎌倉幕府が出した法令を何といいますか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 永仁の徳政令 4. 武家諸法度

答え合わせ・解説

問1	答え 2 十字軍 ― エルサレム	11世紀末、セルジューク朝（イスラム勢力）の進出によって脅かされた東ローマ帝国からの要請を受け、ローマ教皇ウルバヌス2世がキリスト教の聖地エルサレムの奪還を呼びかけました。これに応じて組織された軍隊が十字軍です。メッカやメディナはイスラム教にとっての聖地であり、今回の奪還目標ではありません。
問2	答え 3 切通し	鎌倉は北・東・西の三方を険しい山に囲まれ、南側が相模湾に面しているという、防御に適した「天然の要塞」のような地形をしていました。この閉ざされた地形において、軍事的な防衛力を維持しながら物資の運搬や人の往来を可能にするため、山の一部を削って造られた狭い道が「切通し」です。鎌倉七口と呼ばれる代表的な通路などが知られています。
問3	答え 4 幕府は朝廷の動きを監視し、西国の武士への統制を強めることで、支配力を全国に広げた。	承久の乱までは、幕府の支配力は主に東日本を中心としていましたが、乱の勝利をきっかけに、京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視下に置きました。これにより、幕府が朝廷に対して政治的に優位な立場となり、支配力が西日本まで及ぶ大きな転換点となりました。
問4	答え 1 幕府が朝廷に対して圧倒的な優位に立ち、全国的な支配権を確立する契機となった。	源頼朝が安房で再起し鎌倉に本拠を置いて以来、武家政権は東国を中心に発展してきましたが、承久の乱で朝廷側に勝利したことで、幕府は上皇を流罪にするほど強い権力を持つに至りました。この結果、日本全国に幕府の影響力が及ぶ武家政治の時代が決定づけられました。
問5	答え 1 幕府は地頭を設置し、現地の土地管理や年貢の取り立て、治安維持を担わせた。	鎌倉幕府を樹立した源頼朝は、朝廷から設置の許可を得て、全国の荘園や公領に「地頭」を配置しました。地頭は軍事的な役割だけでなく、現地の責任者として年貢の徴収や土地の管理を行う権限を与えられていました。これにより、幕府の支配力が全国の土地に及ぶようになりました。なお、国ごとに置かれ軍事・警察を担ったのは「守護」であり、荘園ごとに置かれた地頭とは役割と設置単位が異なります。
問6	答え 3 公家を中心とした政治から、土地の仲介などを通じて武士が実権を握る政権へと移行した。	鎌倉時代は平安時代と室町時代の間に位置する武家政権の時代です。1200年前後からの約140年間は、それまでの貴族中心の政治から、將軍と御家人の主従関係に基づく武士中心の社会へと大きく変化した時期にあたります。
問7	答え 4 中世	日本の歴史を大きな流れで捉えた際、鎌倉幕府の成立から室町幕府の滅亡（または安土桃山時代の終焉）までの期間は「中世」と定義される。これは、天皇や貴族が政治の中心であった古代と、兵農分離が進み幕藩体制が確立された近世を繋ぐ時代であり、武士が社会の主導権を握り始めたことが大きな特徴である。
問8	答え 1 運慶や快慶らによって、東大寺南大門に力強い金剛力士像が制作された。	鎌倉時代の彫刻は、武士の好みに合わせた写実的で力強い表現が特徴です。運慶や快慶は、東大寺南大門の金剛力士像を作り、その作風を確立しました。金閣は北山文化、銀閣や枯山水は室町時代後期の東山文化に関連するものであり、鎌倉時代の特徴とは異なります。
問9	答え 2 徳政令	鎌倉幕府は御家人の生活を支える基盤である領地（土地）を守るため、永仁の徳政令を発令しました。これは借金の担保として手放した土地を無償で返させるという強力な経済救済措置でしたが、結果として金銭の貸し借りが困難になり、社会経済を混乱させる原因にもなりました。
問10	答え 2 鎌倉時代と室町時代	日本の「中世」は、一般的に鎌倉幕府が成立した時期から、室町幕府が滅亡し戦国時代が終結するまでの時期を指します。この時期は武士が社会の主役となり、封建的な主従関係が築かれたことが大きな特徴です。飛鳥・奈良時代は「古代」、江戸時代は「近世」、明治以降は「近代」に分類されます。
問11	答え 4 平家物語	鎌倉時代から室町時代にかけて、武士の活躍や戦乱の様子をテーマとした「軍記物語」が数多く制作されました。その代表作である平家物語は、文字を読めない庶民の間にも、琵琶法師による語り（平曲）を通じて広く普及しました。源氏物語は平安時代中期に紫式部によって執筆された物語、太平記は南北朝時代の動乱を描いた軍記物語です。
問12	答え 1 文字の読み書きができない民衆に対しても、語り物という形式をとることで物語の内容を伝えることができたから。	『平家物語』は、「諸行無常」という仏教的な思想を背景にした軍記物語です。琵琶法師が琵琶の伴奏とともに語るスタイルは、文字の読み書きが一般的ではなかった当時の民衆にとって、耳から物語を理解し楽しむための非常に効果的な手段でした。そのため、特定の階級に限らず、都市や農村の幅広い層に物語が浸透する要因となりました。
問13	答え 1 自らの精神を鍛え、悟りを目指すという厳しい修行のあり方が、武勇や規律を重んじる武士の気風に適していたから。	禅宗は、座禅を通じて自己の精神を律し、強靱な精神力を養うことを重視しました。これは常に死と向き合い、戦場での冷静さや自己規律を必要としていた武士の生き方と非常に親和性が高かったのです。そのため、鎌倉幕府の執権であった北条氏など、多くの有力な武士が禅宗を保護し、その普及を後押ししました。
問14	答え 3 永仁の徳政令	元寇の防衛戦は恩賞となるべき獲得領土がなかったため、幕府は戦費を負担した御家人に十分な賞与を与えることができませんでした。生活苦に陥った御家人が手放した領地を取り戻させることで、幕府の軍事力の基盤である御家人体制を維持しようと試みたのが永仁の徳政令です。

- 問1 1192年に源頼朝が朝廷から任命された武家の最高職であり、これによって鎌倉幕府の首長としての権限が正式に確立された役職の名前は何ですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
1. 太政大臣 2. 摂政 3. 関白 4. 征夷大將軍
- 問2 鎌倉時代の將軍と御家人の間には、土地を媒介とした強力な主従関係が存在していました。將軍が御家人の所領を保証したり、新たな所領を与えたりする行為を「御恩」と呼ぶのに対し、御家人が將軍への忠誠を示すために、戦時に軍役を担ったり、京都や鎌倉での警備任務（番役）を遂行したりする義務を何と呼びますか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 寄進 2. 奉公 3. 守護の設置 4. 下地中分
- 問3 鎌倉時代後半に元（モンゴル帝国）が二度にわたって日本へ侵攻した元寇のうち、1274年の文永の役から数えて二度目にあたる1281年の大規模な襲来を何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 弘安の役 2. 慶長の役 3. 承久の乱 4. 文永の役
- 問4 鎌倉時代、將軍と御家人の間には土地を仲立ちとした主従関係がありました。將軍が御家人の領地支配を認めたり、手柄に対して新たな土地を与えたりすることを「御恩」と呼びますが、対して御家人が戦時に軍役を果たしたり、幕府の警護を行ったりする義務を何と呼びますか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 公事 2. 役事 3. 寄進 4. 奉公
- 問5 紀伊国の阿氏河荘（あてがわのしょう）の百姓たちが、荘園領主に提出した「訴え状」の内容について述べた次の文のうち、当時の社会情勢を説明したものとして最も適切なものはどれですか。「この資料では、ある役職者が材木の納入を遅らせたり、百姓を私的に使役したりといった不正を働いている窮状が記されている。」 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 幕府から任命された地頭が、権力を背景に荘園領主の権利を侵し、農民への支配を強めていた。 2. 朝廷が派遣した役人が、幕府の許可なく独自の税を課したため、武士と百姓が団結して抗議した。 3. 御家人が荘園領主の代理人として、年貢を公平に徴収し、地域の平和を維持していた。 4. 各国に置かれた守護が、朝廷から派遣された国司と協力して、農民の生活を保護していた。
- 問6 鎌倉時代に、東大寺南大門の再建や金剛力士像の制作に見られるような、力強く写実的な文化が発展した背景として、当時の社会状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 全国的な内乱が収束し、幕府が莫大な予算を投じて貴族的な豪華な装飾を推奨したため 2. 武家政権の確立により、武士の素朴で質実剛健な価値観が重んじられるようになったため 3. 遣唐使の廃止に伴い、大陸の影響を脱して日本独自の繊細な美意識が完成されたため 4. 南蛮貿易を通じて西洋の絵画技法が伝わり、解剖学に基づいた表現が普及したため
- 問7 北条泰時が制定した「貞永式目（御成敗式目）」の内容や性格について説明した文として、正しいものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 源頼朝が定めた独自の法律を、すべての一般庶民が守るべき道徳として書き換えたものである。 2. 武士社会の慣習に基づき、地頭が荘園の年貢を差し押さえることを禁じるなど、公平な裁判の基準を定めた。 3. 農民の土地支配を保護するために、武士が農地に関与することを一切禁じることを目的としていた。 4. 朝廷の権限を制限するために、京都の公家たちが守るべき法律として、幕府が一方向的に通告した。
- 問8 元寇のあとの恩賞不足や生活難に苦しむ御家人を救済するため、1297年に鎌倉幕府が出した「永仁の徳政令」の内容として適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 北条泰時が制定した御成敗式目に基づき、土地の売買を永続的に自由化した。 2. 織田信長が行った楽市令のように、市場の税を免除して商業の活性化を図った。 3. 御家人が借金の担保として手放した土地を、無償で取り戻させるように命じた。 4. 全ての国民に対して、当時の借金を一律に半分に減額するよう命じた。
- 問9 奈良時代の仏教から鎌倉時代の仏教への変遷と僧侶の活動について、その目的や背景を説明した文として正しいものを選択してください。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 道元が奈良時代に禅の教えを確立させたことで、平安時代以降の鑑真や行基による民衆救済の活動が活発になった。 2. 行基が国家の許可なく民衆に布教したことは、のちの鎌倉時代に道元が戒律を厳格化する直接のきっかけとなった。 3. 鑑真が伝えた戒律は武士の間で流行したが、鎌倉時代に入ると行基の影響を受けた道元が念仏を唱えることを重視した。 4. 国家の保護を受けて戒律を整えた鑑真らの活動に対し、鎌倉時代の道元は個人の修行として座禅による救いを説いた。
- 問10 当時の戦いの様子を描いた記録では、元軍が日本軍に対して使用した、当時の日本にはなかった新しい兵器が描かれている。この兵器の特徴について述べた文として正しいものはどれか。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
1. 「連弩」と呼ばれ、一度に何十本もの矢を連続して放つことができる機械式の武器。 2. 「てつほう」と呼ばれ、火薬を用いて爆発時の音や光で敵や馬を驚かせる武器。 3. 「長槍」と呼ばれ、密集した隊列を組んで騎馬武者の突進を阻止するための長い武器。 4. 「石弓」と呼ばれ、日本の弓よりもはるかに遠い距離から正確に狙撃できる武器。
- 問11 鎌倉時代において、北条泰時が「御成敗式目」を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 江戸幕府が諸大名を統制するために、参勤交代や城の修築制限を法制化するため。 2. 聖徳太子が定めた道徳的な規範を、幕府の役人にも守らせて仏教を普及させるため。 3. 承久の乱の後に増加した土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。 4. 元軍の侵略（元寇）によって困窮した御家人を救済するために、借金を帳消しにするため。
- 問12 鎌倉幕府を開いた源頼朝は、1185年に朝廷から許可を得て、国ごとに新しい役職を設置しました。軍事・警察の職務を担い、国内の御家人を統率したこの役職の名称として正しいものを選んでください。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 執権 2. 六波羅探題 3. 地頭 4. 守護

答え合わせ・解説

問1	答え 4 征夷大將軍	源頼朝は、平氏を滅ぼした後に朝廷からこの職に任命されました。これにより、武士が中心となって政治を行う「武家政権」が名実ともに成立しました。幕府という言葉は、本来はこの役職にある者の居所を指す言葉です。
問2	答え 2 奉公	鎌倉幕府の根幹となった「御恩と奉公」の関係において、御家人が将軍に対して果たすべき義務が「奉公」です。具体的には、戦乱の際に自備の武器や軍勢を率いて駆けつける軍役や、平時の警備などが含まれます。これは、将軍が御家人の先祖伝来の土地を保証するなどの「御恩」を与えることに対する、双務的な代償としての性格を持っていました。
問3	答え 1 弘安の役	元（モンゴル帝国）の皇帝フビライ・ハンは、日本を服属させるために二度の遠征を行いました。一度目の1274年は「文永の役」と呼ばれ、二度目の1281年は「弘安の役」と呼ばれます。文永の役のおとに鎌倉幕府が九州沿岸に防塁を築いて警戒を強めていたなか、元軍は再び大規模な軍勢で日本を襲撃しました。選択肢にある慶長の役は安土桃山時代の朝鮮出兵、承久の乱は鎌倉時代初期に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして起こした戦いです。
問4	答え 4 奉公	将軍と御家人の結びつきは、土地を基盤とした双方向の契約関係にありました。将軍から受けた「御恩」に対し、御家人は「いざ鎌倉」という緊急時の軍役や、京都・鎌倉を警備する番役などを通じて義務を果たす必要があり、これを「奉公」と言います。
問5	答え 1 幕府から任命された地頭が、権力を背景に荘園領主の権利を侵し、農民への支配を強めていた。	阿氏河荘の百姓による訴え状は、地頭の横暴な振る舞いを具体的に示す貴重な資料です。鎌倉時代、現地の実権を握った地頭は、本来の職務を超えて荘園領主への年貢を滞らせたり、農民を不当に働かせたりすることが多く、各地で荘園領主や農民との紛争が絶えませんでした。
問6	答え 2 武家政権の確立により、武士の素朴で質実剛健な価値観が重んじられるようになったため	文化の特色は、その時代の社会の担い手の価値観を反映します。平安時代の貴族中心の社会から、鎌倉時代の武士中心の社会へと変化したことで、貴族的な優雅さよりも、実力主義の武士に好まれる力強さ、たくましさ、ありのままの姿を尊ぶ「写実的」な気風が文化全般に影響を与えました。
問7	答え 2 武士社会の慣習に基づき、地頭が荘園の年貢を差し押さえることを禁じるなど、公平な裁判の基準を定めた。	貞永式目は、武士のために作られた最初の法律です。それまで明文化されていなかった武士社会の慣習や道徳を整理し、地頭による不当な年貢の差し押さえを禁じるなど、紛争を解決するためのルールを明確にしました。この法律は武士の社会を対象としたもので、朝廷の支配下にある人々に適用される公家法とは区別されていましたが、その後の武家政治における法律の模範となりました。
問8	答え 3 御家人が借金の担保として手放した土地を、無償で取り戻させるように命じた。	鎌倉幕府は困窮した御家人を救うため、売却または質入れした領地を無償で取り戻させる「永仁の徳政令」を発令しました。これにより一時的に御家人の手元に土地が戻りましたが、貸し手である借上（かしあげ）などの業者が将来の不払いを恐れて金を貸さなくなったため、かえって経済的な混乱を招く結果となりました。
問9	答え 4 国家の保護を受けて戒律を整えた鑑真らの活動に対し、鎌倉時代の道元は個人の修行として座禅による救いを説いた。	奈良時代の仏教は「鎮護国家」の思想のもと、国家の平安を祈る性質が強く、鑑真による戒律の導入も、僧侶の質を維持し国家的な宗教制度を整える目的がありました。一方、鎌倉時代になると、不安な社会情勢の中で個人がどのように救われるかが重視されるようになり、道元は中国から伝えた禅（曹洞宗）によって、ひたすら座禅を組むという個人の修行のあり方を提示しました。行基は奈良時代に民衆への布教で活躍しましたが、道元とは活動した時代も目的も異なります。
問10	答え 2 「てつはう」と呼ばれ、火薬を用いて爆発時の音や光で敵や馬を驚かせる武器。	元軍は「てつはう」という、陶器などの容器の中に火薬を詰めた兵器を使用していました。これは爆発した際に激しい音と光を放つため、これを見たことがなかった日本の武士たちは驚き、特に爆音にパニックを起こした馬が制御不能になるなど、心理的・戦術的に大きな混乱をもたらしました。
問11	答え 3 承久の乱の後に増加した土地をめぐる紛争を、武士の慣習に基づいて公平に裁くため。	それまでの裁判は朝廷の律令に基づいて行われることがあり、武士にはわかりにくいものでした。泰時は、武士の社会で守られてきた道理や慣習を基準にすることで、御家人が納得できる公平な裁判のルールを確立しようとしていました。これにより、幕府による御家人の土地支配の権利をより確実なものにする狙いがありました。
問12	答え 4 守護	源頼朝は、対立した弟の源義経を捕縛することを名目に、諸国に守護を、荘園や公領ごとに地頭を設置する権利を朝廷から認めさせました。守護は主に国単位で置かれ、謀反人の捜索や逮捕、京都での警備（大番役）の催促など、軍事や警察に関わる役割を担うことで幕府の支配力を高めました。

- 問1 鎌倉時代の13世紀後半、元軍が日本に襲来した「元寇」に関連する記述として、当時の執権であった北条時宗が執った行動やその背景について説明したものとして正しいものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 幕府の権威を固めるため、日本で最初となる武家独自の法律「御成敗式目」を制定し、裁判の公平化によって御家人の支持を得ようとした。 | 2. 元の皇帝フビライ・ハンの要求を受け入れ、日宋貿易をさらに拡大させることで武力衝突の回避を図った。 | 3. 室町幕府の権力を強化するため、明との間で勘合貿易を開始し、対外的な緊張を緩和させる政策を採用した。 | 4. モンゴル帝国からの服属要求を拒絶し、九州の博多湾沿岸に防塁を築くなどして防衛体制を整えた。 |
|--|---|--|--|
- 問2 鎌倉時代の文学に関する記述として、後鳥羽上皇の命によって編纂された和歌集の名称と、その時代の文化的な背景を説明したものとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 後鳥羽上皇が編纂を命じた『古今和歌集』であり、国風文化の確立を象徴している。 | 2. 運慶が編纂を命じた『万葉集』であり、素朴で力強い武士の心を詠んでいる。 | 3. 井原西鶴が編纂した『浮世草子』であり、町人の日常生活をリアルに描いている。 | 4. 後鳥羽上皇が編纂を命じた『新古今和歌集』であり、公家社会に受け継がれた伝統的な文化の一端を示している。 |
|---|--|--|--|
- 問3 1221年に後鳥羽上皇が兵を挙げた承久の乱の結果、鎌倉幕府が京都に新しく設置した役職は何ですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|----------|--------|
| 1. 侍所 | 2. 政所 | 3. 六波羅探題 | 4. 問注所 |
|-------|-------|----------|--------|
- 問4 鎌倉時代、モンゴル帝国（元）が二度にわたって日本へ襲来した出来事は「元寇」と呼ばれます。この二度の戦いの名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 前九年の役・後三年の役 | 2. 保元の乱・平治の乱 | 3. 文禄の役・慶長の役 | 4. 文永の役・弘安の役 |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
- 問5 鎌倉時代の社会経済の変化について述べた文として、当時の農業の発展が流通に与えた影響を説明しているものはどれですか。 (2023年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 全国に貨幣が流通したため、農民は年貢を米ではなく全て現金を納める形式に変更した | 2. 幕府が「楽市・楽座」の政策をとったため、定期市の開催頻度が毎日に変更された | 3. 農業生産力の向上により余剰産品が生まれたため、寺社の門前などで定期市が開かれるようになった | 4. 特権を持つ商人が「座」を結成し、二毛作で収穫した麦を独占的に販売する仕組みが全国で完成した |
|--|--|--|--|
- 問6 鎌倉時代、承久の乱の後に三代執権の北条泰時が制定した、武士社会の慣習をもとに裁判の基準を定めた日本初の武家法律を何といいますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|----------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 公事方御定書 | 3. 建武式目 | 4. 武家諸法度 |
|----------|-----------|---------|----------|
- 問7 鎌倉幕府において、将軍と御家人は土地を仲立ちとした主従関係で結ばれていました。将軍が御家人の先祖伝来の領地の所有権を認めたり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりした行為を何といいますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 安堵 | 2. 寄進 | 3. 御恩 | 4. 奉公 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問8 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた戦いの結果、幕府が朝廷の監視と西日本の統治を強化するために京都に設置した機関はどれですか。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|----------|-------|
| 1. 鎌倉府 | 2. 京都所司代 | 3. 六波羅探題 | 4. 侍所 |
|--------|----------|----------|-------|
- 問9 江戸時代の俳人・松尾芭蕉が『奥の細道』において、北上川を望む高館（源義経の居館跡）を訪れた際、かつての奥州藤原氏の栄華をしのんで詠んだ句に関連する記述として、正しいものを選びなさい。 (2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 源頼朝は、奥州藤原氏を滅ぼした後に守護・地頭を全国に設置し、支配を固めた。 | 2. 松尾芭蕉が訪れた際、平泉には奥州藤原氏によって建立された金閣が残っていた。 | 3. 奥州藤原氏は、京都の文化を積極的に取り入れ、平等院鳳凰堂を平泉に建立した。 | 4. 源頼朝は、奥州藤原氏が独占していた日宋貿易の権利を奪うために平泉を攻めた。 |
|--|--|--|--|
- 問10 源頼朝が再建に協力した東大寺南大門などの歴史的背景に関連して、当時の幕府が地方統治のために導入した「守護」の役割について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 国ごとに設置され、大犯三箇条と呼ばれる軍事・警察的な権限を行使した。 | 2. 荘園や公領ごとに設置され、土地の管理や年貢の徴収を直接担当した。 | 3. 幕府の最高機関として、執権を補佐し政治全般の合議を行った。 | 4. 朝廷から直接派遣され、地方行政の全般や租税の徴収を司った。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
- 問11 平氏が壇ノ浦の戦いで滅亡した後、源頼朝は関東を本拠地として武家政権の確立を進めました。頼朝が平氏討伐に協力した弟の義経を追放した際、義経をかくまったことを理由に軍を送り込み、平泉を拠点としていた勢力を滅ぼした出来事を何といいますか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-----------|------------|------------|
| 1. 奥州藤原氏の征伐 | 2. 元寇への対応 | 3. 島原の乱の鎮圧 | 4. 承久の乱の鎮圧 |
|-------------|-----------|------------|------------|
- 問12 源頼朝が1185年に守護・地頭を設置する権利を認めさせ、1189年に奥州藤原氏を滅ぼしたことによって達成された、歴史的な意義として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 朝廷から政権を完全に奪取し、天皇に代わって新しい法律を制定した。 | 2. 平氏を滅ぼした後、軍事・警察権を背景として全国的な支配体制を固めた。 | 3. 東北地方の金などの資源を独占し、宋との貿易を拡大させた。 | 4. 上皇による院政を停止させ、貴族による政治を完全に終了させた。 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 鎌倉時代に栄西（えいさい）などの僧によって中国（宋）から伝えられた、座禅を組んで自ら悟りを開こうとする教えを何というか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 日蓮宗 | 2. 禅宗 | 3. 浄土真宗 | 4. 浄土宗 |
|--------|-------|---------|--------|
- 問14 13世紀にモンゴル帝国（元）を訪れたベネチア出身の商人で、帰国後にアジア各地の見聞を『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめ、ヨーロッパの人々に東洋への強い関心を持たせた人物は誰ですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|--------|---------|
| 1. コロンブス | 2. マルコ・ポーロ | 3. ルター | 4. マゼラン |
|----------|------------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 モンゴル帝国からの服属要求を拒絶し、九州の博多湾沿岸に防塁を築くなどして防衛体制を整えた。	北条時宗は、元からの度重なる使者を追い返し、武力での対抗を選択しました。一度目の襲来（文永の役）の経験を踏まえ、二度目の襲来（弘安の役）に備えて博多湾の海岸線に大規模な石垣（防塁）を構築させたほか、異国警固番役を設けて御家人たちに九州の警備を命じました。他の選択肢は、北条泰時（御成敗式目）や足利義満（勘合貿易）に関連する内容です。
問2	答え 4 後鳥羽上皇が編纂を命じた『新古今和歌集』であり、公家社会に受け継がれた伝統的な文化の一端を示している。	鎌倉時代には武士の文化が台頭する一方で、京都の公家社会でも伝統的な文化が守られていました。後鳥羽上皇の命で編纂された『新古今和歌集』は、その代表例です。選択肢にある『古今和歌集』は平安時代のもの、『万葉集』は奈良時代のもです。また、『浮世草子』は江戸時代の元禄文化に関連するものであり、鎌倉文化とは区別する必要があります。
問3	答え 3 六波羅探題	承久の乱で朝廷側の軍に勝利した鎌倉幕府は、敗れた後鳥羽上皇らを流罪に処しました。さらに、それまで京都の警備を担っていた京都守護に代わり、朝廷の動きを常に監視し、西国の武士を統制するための機関として六波羅探題を設置しました。
問4	答え 4 文永の役・弘安の役	13世紀後半、フビライ・ハン率いる元軍は1274年と1281年の二度にわたって九州北部に襲来しました。1274年の襲来を文永の役、1281年の襲来を弘安の役と呼びます。鎌倉幕府は北条時宗を中心にこれに応戦し、暴風雨の影響などもあって元軍を退けました。
問5	答え 3 農業生産力の向上により余剰産品が生まれたため、寺社の門前などで定期市が開かれるようになった	二毛作の普及や肥料の改善によって農業生産力が向上すると、農民は自給分以外の余った農産物を売買するようになりました。これにより、交通の要所や寺社の門前などで、月に3回などの決まった日に「定期市」が開かれるようになり、商業が活発化しました。鎌倉時代は幕府の執権として北条氏が政治を行っていた時期にあたります。
問6	答え 1 御成敗式目	鎌倉幕府の三代執権である北条泰時は、武士の間で土地をめぐる争いが増えたことを背景に、公平な裁判を行うための基準を設けました。これが日本初の武家独自の法律となり、貞永元年に制定されたことから「貞永式目」とも呼ばれます。江戸時代の武家諸法度や公事方御定書と混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 3 御恩	鎌倉幕府の基盤は、将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」という主従関係にありました。将軍側が行う、御家人の領地を保護・付与する行為が「御恩」と呼ばれます。具体的には、元々持っていた土地を保証する「本領安堵」や、戦功に対して新しい土地を与える「新恩給与」がありました。これに対し、御家人が軍役や番役を果たすことが「奉公」です。
問8	答え 3 六波羅探題	承久の乱で勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流し、朝廷の動きを厳しく監視するために六波羅探題を設置しました。これに加えて、朝廷側に味方した貴族や武士の領地を没収し、そこに東国の御家人を「地頭」として新たに任命したことで、幕府の支配力は西日本へも大きく広がることとなりました。
問9	答え 1 源頼朝は、奥州藤原氏を滅ぼした後に守護・地頭を全国に設置し、支配を固めた。	源頼朝は奥州藤原氏を滅ぼす前後で、全国に守護（軍事・警察）と地頭（年貢の徴収・管理）を置く権利を朝廷から認めさせ、鎌倉幕府の基盤を盤石なものにしました。平泉の代表的な建築物は中尊寺金色堂であり、平等院（宇治）や金閣（京都）とは異なります。
問10	答え 1 国ごとに設置され、大犯三箇条と呼ばれる軍事・警察的な権限を行使した。	鎌倉幕府は地方支配を強化するため、国単位で守護を設置しました。守護の職務は、謀反人の捜索や逮捕、殺人者の逮捕、および夜番の勤め（京都大番役）の催促といった軍事・警察的な業務（大犯三箇条）が中心でした。地頭が荘園単位で配置され経済的な実権を握っていたのに対し、守護は国単位の軍事的な統括を担ったのが特徴です。
問11	答え 1 奥州藤原氏の征伐	源頼朝は、対立した弟の源義経をかくまった奥州藤原氏を滅ぼすため、1189年に大規模な軍勢を東北地方へ送り込みました。これにより、平泉を中心とした奥州藤原氏の勢力は滅亡し、頼朝は日本全域にわたる軍事的な支配権を固めることとなりました。
問12	答え 2 平氏を滅ぼした後、軍事・警察権を背景として全国的な支配体制を固めた。	壇ノ浦の戦いで平氏を滅亡させた後、源頼朝は源義経の追捕を名目に、守護・地頭の設置を朝廷に認めさせました。その後、義経を保護していた奥州藤原氏を1189年に滅ぼしたことで、東北地方までを含む強力な武家政権の基盤が確立されました。これにより、土地の管理や警察権を武士が握る鎌倉幕府の支配体制が全国的なものとなりました。
問13	答え 2 禅宗	鎌倉時代に宋西が宋から伝えた禅宗は、座禅を修行の基本とし、自分を見つめ直すことで悟りを目指す宗派です。この教えは、自分自身の精神を鍛えることを重視したため、当時の武士たちに強く支持されました。
問14	答え 2 マルコ・ポーロ	モンゴル帝国のフビライ・ハンに仕えたマルコ・ポーロは、アジア各地の文化や社会の様子を口述し、それが『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめられました。この書物は当時のヨーロッパにおいて未知の世界であったアジアの情報を伝える貴重な史料となり、後の大航海時代への伏線となりました。

- 問1 1221年に起こった戦乱において、後鳥羽上皇が率いる朝廷軍を破った鎌倉幕府が、その後の戦後処理として、朝廷の監視や西国の武士の統制を目的に京都に設置した役職は何ですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
1. 六波羅探題 2. 執権 3. 問注所 4. 京都守護
- 問2 1232年（貞永元年）、鎌倉幕府の3代執権であった北条泰時が、御家人たちの間で増えていた土地の争いなどを公平に裁く基準を示すために制定した、日本で最初の武家独自の法律を何といいますか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 大宝律令 4. 憲法十七条
- 問3 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地で地頭と荘園領主との間の紛争が急増しました。これに対し、3代執権の北条泰時が、御家人同士や地頭と領主の争いを公平に裁くための基準として1232年に制定した、武士独自の法を何といいますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 十七条の憲法 2. 建武式目 3. 御成敗式目（貞永式目） 4. 公事方御定書
- 問4 紀伊国の阿氏河荘（あてがわのしょう）という荘園では、地頭が農民を不当に働かせたり、年貢を横領したりといった横暴を働いていました。これに苦しんだ農民たちは、自分たちの窮状を訴える文書を「土地の本来の持ち主」へ送りました。この訴えの宛先となった、当時の土地支配の中心的な勢力として正しいものはどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
1. 管領や大老 2. 将軍や執権 3. 貴族や寺社 4. 守護や地頭
- 問5 13世紀、モンゴル帝国の第5代皇帝フビライ・ハーンが、都を大都（現在の北京）に移した際に定めた中国風の国号を次の中から選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 元 2. 高麗 3. 明 4. 清
- 問6 鎌倉時代後半に元（モンゴル帝国）が二度にわたって日本へ侵攻した元寇のうち、1274年の文永の役から数えて二度目にあたる1281年の大規模な襲来を何と呼びますか。最も適切な名称を選びなさい。 (2023年 高知県公立入試 類似)
1. 承久の乱 2. 文永の役 3. 弘安の役 4. 慶長の役
- 問7 鎌倉幕府において、源頼朝の死後に北条氏が代々就任し、将軍に代わって幕府の政治を統括し実権を握った役職を何といいますか。 (2024年 宮崎県公立入試 類似)
1. 管領 2. 老中 3. 執権 4. 地頭
- 問8 鎌倉幕府の三代執権である北条泰時が、御成敗式目を制定した目的や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 徳政令を発布して、生活に困窮した御家人の借金を帳消しにし、幕府への忠誠心を取り戻すため 2. 律令に基づいた裁判を行う朝廷の権威を否定し、すべての日本人に幕府の法を適用するため 3. 承久の乱の後に増大した領地争いの裁判を、武家社会の慣習に基づき公平に行うため 4. 元（モンゴル帝国）の来航に備え、全国の武士を統制して沿岸部の警備を強化するため
- 問9 鎌倉時代初期の武士社会において、親の領地を複数の子に分けて継承させる相続方法を何といいますか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 単独相続 2. 地頭請 3. 永代売買 4. 分割相続
- 問10 鎌倉時代末期に一遍（いっぺん）によって開かれ、太鼓や鐘をたたきながら念仏を唱えて踊る「踊念仏（おどりねんぶつ）」を通じて、農民などの民衆の間に急速に広まった宗派を次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 浄土真宗 2. 日蓮宗 3. 浄土宗 4. 時宗
- 問11 中世から近世にかけての武家政権の変遷について述べた文として、歴史的な事実関係が正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 源頼朝が鎌倉幕府を開いた後、承久の乱を経て幕府の権力は西国へ拡大し、のちに豊臣秀吉が北条氏を滅ぼして天下統一を成し遂げた。 2. 東大寺の再建を通じて武士の勢力交代が進む中、地頭の設置よりも先に豊臣秀吉による太閤検地が行われ、幕府の支配権が確立した。 3. 承久の乱によって鎌倉幕府が滅亡した結果、戦国時代の混乱が始まり、その終焉とともに源頼朝が守護・地頭の設置を認めさせた。 4. 豊臣秀吉が全国を統一して地頭の権限を全国に広めた後、それに反発した後鳥羽上皇が承久の乱を引き起こした。
- 問12 1232年、3代執権の北条泰時が「御成敗式目」を制定した背景として、最も正しい説明はどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. 源頼朝の死後、源氏の血筋が途絶えたことで、将軍に代わる新しい統治者を決める必要があったため 2. 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と従来の領主との間で土地をめぐる争いが増えたため 3. 幕府の拠点を鎌倉から京都へ移し、朝廷の政治文化を積極的に取り入れるため 4. 天皇を中心とした律令制度を復活させ、公家と武士が共同で政治を行う仕組みを整えるため
- 問13 日本の歴史を、(1)飛鳥時代、(2)平安時代、(3)鎌倉時代、(4)室町時代と分けたとき、(3)の時期に再建された東大寺南大門やその内部に安置された彫刻に見られる文化的な特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
1. 重源らによって再建され、力強い筋肉表現をもつ金剛力士像に見られるような写実的な作風。 2. 足利義満が北山文化の時期に建立した、公家文化と武家文化が融合した金箔の装飾。 3. 藤原氏が極楽浄土を夢見て造営した、華やかで優美な貴族文化を象徴する様式。 4. 聖徳太子によって建立され、世界最古の木造建築として大陸の影響を色濃く残す様式。
- 問14 鎌倉時代に制定された御成敗式目（貞永式目）の背景とその特徴について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 承久の乱のあと、武士の勢力が広がる中で急増した領地争いを、公平に裁く基準として作られた。 2. 守護の権限を大幅に拡大し、全国の荘園の年貢をすべて徴収できるようにするために作られた。 3. 朝廷の律令をそのまま武士に適用させ、貴族社会と同じ基準で裁判を行うために作られた。 4. 徳川家康が豊臣氏を滅ぼしたあと、全国の名を統制する目的で作られた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 六波羅探題	承久の乱に勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流すと同時に、これまで幕府の影響力が弱かった朝廷や西国を監視する必要性に迫られました。そこで、京都の六波羅に拠点を置く「六波羅探題」という役職を新設し、朝廷に対する支配力を強めました。
問2	答え 1 御成敗式目	承久の乱の後、幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、領地をめぐる訴訟が急増しました。これに対し、北条泰時は武士の社会でそれまで慣習として行われてきた「道理」や「先例」を明文化し、公平な裁判の基準を定めました。制定された当時の年号から「貞永式目」とも呼ばれます。
問3	答え 3 御成敗式目（貞永式目）	承久の乱に勝利した鎌倉幕府は、西日本の朝廷側の領地に地頭を任命するなど、その支配力を全国へと広げました。しかし、地頭の勢力拡大にともない、土地の境界や年貢の納入をめぐるトラブルが多発したため、北条泰時は武士の慣習や「道理」を基準とした公平な裁判を行うためにこの法を定めました。これは武士による最初の体系的な法律です。
問4	答え 3 貴族や寺社	鎌倉時代の地方の土地（荘園）は、法的には京都の貴族や大きな寺社が「荘園領主」として所有していました。幕府から派遣された武士である地頭が農民に対して不当な要求を行った際、農民たちは「本来の主人」である荘園領主に助けを求めるため、訴状を送って抗議しました。阿氏河荘の百姓訴状はその代表的な事例です。
問5	答え 1 元	チンギス・ハンによって築かれたモンゴル帝国は、第5代皇帝のフビライ・ハンの時代に、中国風の「元」という国号を採用しました。フビライは日本に対しても服従を求め、二度にわたる元寇（文永の役・弘安の役）を引き起こしました。
問6	答え 3 弘安の役	元（モンゴル帝国）の皇帝フビライ・ハンは、日本を服属させるために二度の遠征を行いました。一度目の1274年は「文永の役」と呼ばれ、二度目の1281年は「弘安の役」と呼ばれます。文永の役あとの鎌倉幕府が九州沿岸に防塁を築いて警戒を強めていたなか、元軍は再び大規模な軍勢で日本を襲撃しました。選択肢にある慶長の役は安土桃山時代の朝鮮出兵、承久の乱は鎌倉時代初期に後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして起こした戦いです。
問7	答え 3 執権	源頼朝の死後、妻の北条政子の実家である北条氏が台頭しました。北条氏は將軍の補佐役であった「執権」の職を世襲し、政治の実権を握る「執権政治」を確立しました。管領は室町時代、老中は江戸時代の役職であるため混同に注意が必要です。
問8	答え 3 承久の乱の後に増大した領地争いの裁判を、武家社会の慣習に基づき公平に行うため	北条泰時は、幕府の力が強まる中で御家人たちの権利関係を明確にし、身分に関わらず公正な裁判が行われる仕組みを整える必要がありました。それまで成文化されていなかった武士の道徳や慣習を法としてまとめることで、御家人の信頼を得て幕府の安定を図る目的がありました。なお、この法は当初、幕府の勢力圏内（御家人や幕府領）にのみ適用されるものでした。
問9	答え 4 分割相続	鎌倉時代初期の武士（御家人）の間では、親の領地を複数の子に分けて譲り渡す方法が一般的でした。この制度では、男子だけでなく女子にも領地を分け与える権利が認められていました。しかし、世代を重ねるごとに一人あたりの領地が細分化されて減少していくため、のちに御家人の生活が困窮する一因となりました。
問10	答え 4 時宗	一遍は、阿弥陀仏の名を唱えれば誰でも救われると説き、特定の寺院を持たずに全国を巡り歩く「遊行（ゆぎょう）」を行いました。踊念仏は、信仰の喜びを体全体で表現する布教スタイルとして、当時の庶民の心をつかみました。一遍が描かれた絵巻物などにも、多くの人々が輪になって踊る様子が記録されています。
問11	答え 1 源頼朝が鎌倉幕府を開いた後、承久の乱を経て幕府の権力は西国へ拡大し、のちに豊臣秀吉が北条氏を滅ぼして天下統一を成し遂げた。	日本の武家政権は、12世紀末に源頼朝が鎌倉幕府を開いたことに始まります。1221年の承久の乱は幕府の支配力が全国化する重要な転換点となりました。その後、室町幕府や戦国時代を経て、16世紀末に豊臣秀吉が小田原の北条氏を滅ぼすことで天下統一を達成しました。承久の乱は豊臣秀吉の時代よりも約360年以上前の出来事であり、時代順序を正確に把握することが重要です。
問12	答え 2 承久の乱のあと、新しく任命された地頭と従来の領主との間で土地をめぐる争いが増えたため	承久の乱の結果、幕府は西日本にも多くの地頭を任命しましたが、これにより各地で土地の支配権をめぐるトラブルが急増しました。北条泰時は、御家人たちに公平な裁判の基準を示すことで、これらの混乱を鎮め、北条氏による執権政治の基盤を安定させようと考えました。
問13	答え 1 重源らによって再建され、力強い筋肉表現をもつ金剛力士像に見られるような写実的な作風。	鎌倉時代の文化は、それまでの平安時代の貴族文化（国風文化）の優雅さとは対照的に、台頭してきた武士の気風を反映して「力強く写実的」であることが大きな特徴です。東大寺南大門の再建を指揮した重源や、彫刻を担当した運慶・快慶らの活動は、まさにこの時代を象徴しています。他の選択肢は、飛鳥、平安、室町の各時代における代表的な建築物の特徴を述べたものです。
問14	答え 1 承久の乱のあと、武士の勢力が広がる中で急増した領地争いを、公平に裁く基準として作られた。	承久の乱によって幕府の支配力が西日本まで及ぶようになると、各地で武士と荘園領主、あるいは武士同士の土地トラブルが急増しました。北条泰時は、武士に馴染みの薄い朝廷の律令ではなく、武士独自の慣習を明文化することで、誰もが納得できる公平な裁判を行おうとしました。これがのちの武家法の規範となりました。

- 問1 鎌倉幕府を支えた将軍と御家人の関係において、将軍が御家人に対して行った「御恩」の具体的な内容として、最も適切なものはどれですか。
(2021年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 全国の荘園や公領から兵糧米を徴収する権利を与えること | 2. 京都や鎌倉の警備を行い、将軍の身辺を護衛すること | 3. 戦時に軍勢を率いて駆けつけ、命をかけて戦うこと | 4. 先祖伝来の領地の支配を認めたり、新たな領地を与えたりすること |
|-------------------------------|-----------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
- 問2 鎌倉時代に運慶や快慶らによって制作され、東大寺南大門に安置されている、筋肉の盛り上がりなど力強い写実的な表現が特徴の仏像は何ですか。
(2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 1. 金剛力士像 | 2. 弥勒菩薩像 | 3. 阿弥陀如来像 | 4. 釈迦三尊像 |
|----------|----------|-----------|----------|
- 問3 源頼朝によって国ごとに守護、荘園や公領ごとに地頭が置かれ、武士による統治が広まった時期の政治体制について、北条氏が果たした役割を説明したものとして適切なものはどれか。
(2023年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 北条氏是有力な御家人による合議制を廃止し、自ら新たな将軍となつて独裁政治を始めた。 | 2. 北条氏は天皇の監視を行う六波羅探題を世襲し、京都から幕府全体に指令を出した。 | 3. 北条氏が将軍を補佐する最高職に就き、幕政の実権を握る執権政治を行った。 | 4. 北条氏は朝廷から関白の地位を与えられ、公家と武士が協力する政治体制を築いた。 |
|--|---|--|---|
- 問4 13世紀後半、モンゴル帝国の第5代皇帝に即位し、都を大都（現在の北京）に移して、中国風の「元」という国号を定めた人物は誰か。
(2024年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|------------|------------|
| 1. マルコ=ポーロ | 2. 北条時宗 | 3. チンギス=ハン | 4. フビライ=ハン |
|------------|---------|------------|------------|
- 問5 鎌倉時代において、将軍と御家人の間には土地を媒介とした主従関係が築かれました。このうち、将軍が御家人のこれまでの領地を保証したり、手柄を立てた者に新たな領地を与えたりする行為を何と呼びますか。
(2023年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 寄進 | 2. 安堵 | 3. 御恩 | 4. 奉公 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問6 ある御家人の父親が亡くなった際、その領地を5人の兄弟姉妹で均等に分け合つて引き継ぐ状況を想定します。このような相続の形態が繰り返された結果、鎌倉幕府の社会で起きた現象として最も適切なものはどれですか。
(2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 一族の人数が増えることで開墾が進み、全国的な農地面積が飛躍的に拡大する要因となった。 | 2. 個々の武士が所有する領地が狭くなり、武士としての義務を果たすための経済力が不足した。 | 3. 女性にも相続権があったため、女性地頭が急増し、幕府の要職の多くを女性が占めるようになった。 | 4. 領地の売買が禁じられていたため、土地を失う武士は現れず、幕府の統治は長期にわたって安定した。 |
|---|---|--|---|
- 問7 鎌倉時代、フビライによって建国された国が博多湾沿岸へと侵攻してきました。この国の名称として正しいものはどれですか。
(2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|------|
| 1. 清 | 2. 唐 | 3. 元 | 4. 明 |
|------|------|------|------|
- 問8 鎌倉幕府が1221年に起こった承久の乱のあと、京都に「六波羅探題」という新しい機関を設置した主な目的として、最も適切なものはどれですか。
(2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 源頼朝が征夷大將軍として、朝廷から正式に幕府の開設を認めさせるため | 2. 御家人たちの領地争いを公平に裁くための、最初の武家法を制定するため | 3. 後鳥羽上皇側の動きを監視するとともに、西国の武士たちの統制を強めるため | 4. 元（モンゴル帝国）の襲来に備えて、西日本全体の防衛体制を整えるため |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問9 1221年に後鳥羽上皇が倒幕の兵を挙げた「承久の乱」の後、鎌倉幕府が朝廷の動きを常に警戒し、西国の武士を統率するために京都に新しく設置した機関として正しいものはどれですか。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|--------|-------|
| 1. 六波羅探題 | 2. 管領 | 3. 鎌倉府 | 4. 侍所 |
|----------|-------|--------|-------|
- 問10 13世紀、モンゴル帝国のフビライ・ハンが中国に建てた王朝で、二度にわたって日本に侵攻してきた国の名称を何といいますか。
(2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1. 高麗 | 2. 明 | 3. 元 | 4. 清 |
|-------|------|------|------|
- 問11 平安時代末期に平清盛が神戸の大輪田泊を整備して積極的に推し進めた中国の王朝との貿易において、大量に日本へ持ち込まれ、その後の国内で土地の売買や年貢の納入に広く用いられるようになったものは何ですか。
(2016年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 絹織物 | 2. 鉄砲 | 3. 仏像 | 4. 銅銭 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問12 鎌倉時代、将軍と主従関係を結んだ武士（御家人）は、将軍から領地の支配を認められるなどの「御恩」を受け一方で、将軍に対して「奉公」と呼ばれる義務を果たしました。この「奉公」のうち、平時に行われた軍役の内容として正しいものはどれですか。
(2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 京都の警備などを担当する京都大番役や、鎌倉の警備を行う役目 | 2. 九州北部の沿岸に配置され、外国の侵攻に備えて防衛にあたる役目 | 3. 道路や関所の維持管理のため、領地で収穫された米の半分を納める義務 | 4. 領地の収穫量である石高に応じて、定められた人数の兵を出す役目 |
|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
- 問13 13世紀後半、元寇における軍役の負担や貨幣経済の浸透により、鎌倉幕府に仕える武士たちが経済的に困窮する事態となりました。この状況を改善するために、1297年に幕府が出した法令の内容とその背景として最も適切なものはどれですか。
(2025年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 明との正式な貿易を開始して幕府の財政を立て直すため、特定の商人にのみ貿易の独占権を与えた。 | 2. 異国船の来航による混乱を防ぐため、海岸に近づく外国の船をためらわずに撃退するよう各地の役人に命じた。 | 3. 大名の勢力を統制し武士の規律を正すため、城の無断修理や勝手な婚姻を禁止する厳しい基準を設けた。 | 4. 元寇が防衛戦であり恩賞として与える土地が不足していたため、生活に苦しむ御家人の借金を帳消しにさせた。 |
|--|---|--|---|
- 問14 鎌倉幕府が、1221年の出来事の直後に朝廷の監視や西国の御家人の統轄を行うために取った対応として正しいものはどれか。
(2023年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 大宰府に鎮西探題を置き、元（モンゴル帝国）の侵略に備えさせた。 | 2. 室町に室町幕府を開き、朝廷の御所を監視下に置いた。 | 3. 京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視や西国の統轄を行わせた。 | 4. 平城京に守護と地頭を配置し、全国の荘園からの年貢徴収を命じた。 |
|------------------------------------|------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 先祖伝来の領地の支配を認めたり、新たな領地を与えたりすること	将軍と御家人の主従関係は、土地を仲立ちとして成り立っていました。将軍が御家人の所領支配を保証することを「本領安堵」、手柄に対して新しい土地を与えることを「新恩給与」と呼び、これらを総称して「御恩」といいます。一方、御家人が軍役や警備などを担うことは「奉公」と呼ばれ、両者はギブ・アンド・テイクの関係で結ばれていました。
問2	答え 1 金剛力士像	鎌倉文化を代表するこの仏像は、運慶や快慶らが寄木造の手法を用いて制作しました。平安時代の優美な仏像とは異なり、武士の気風を反映した力強い写実的な表現が特徴です。阿弥陀如来像は平等院鳳凰堂（国風文化）、釈迦三尊像は法隆寺金堂（飛鳥文化）にある仏像です。
問3	答え 3 北条氏が将軍を補佐する最高職に就き、幕政の実権を握る執権政治を行った。	鎌倉幕府の基盤が整備された後、北条氏は源氏の将軍に代わって政治の実権を掌握しました。北条氏は自ら将軍になるのではなく、あくまで「将軍を補佐する立場（執権）」として政治を主導したのが特徴です。また、初期には有力御家人の合議制を取り入れつつ、次第に北条氏への権力集中を進めていきました。
問4	答え 4 フビライ=ハン	モンゴル帝国の創始者であるチンギス=ハンの孫にあたります。中国全土を支配し、国号を元と定めて帝国を拡大させました。日本に対しても服属を求める使節を送りましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、二度にわたる蒙古襲来（元寇）を指揮することとなりました。
問5	答え 3 御恩	鎌倉幕府の基盤は、将軍と御家人の間の土地を通じた契約関係にありました。将軍が御家人の領地を保証する「本領安堵（ほんりょうあんど）」や、戦功に対して新しい領地を与える「新恩給与（しんおんきゅうよ）」をまとめて「御恩」と呼びます。これに対し、御家人が軍役や京都・鎌倉の警備を行う義務を「奉公」と言い、この双方向の関係が幕府を支えました。
問6	答え 2 個々の武士が所有する領地が狭くなり、武士としての義務を果たすための経済力が不足した。	鎌倉時代初期には女性にも相続権が認められ、子たちに領地を分ける分割相続が行われていました。しかし、この仕組みは「領地の細分化」を招き、一人の御家人が得られる収入を減少させました。その結果、武士は武器や馬を用意して軍役を果たすことが困難になり、借金をして土地を失う者が現れるなど、幕府の基盤を揺るがす深刻な社会問題へと発展しました。
問7	答え 3 元	チンギス・ハンの孫であるフビライが、モンゴル帝国から国号を改めて建国した。13世紀後半、二度にわたって日本に軍隊を送り込み、北九州の博多湾などで激しい戦闘を繰り広げた。
問8	答え 3 後鳥羽上皇側の動きを監視するとともに、西国の武士たちの統制を強めるため	承久の乱は、後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして兵を挙げた事件です。これに勝利した幕府は、二度と同じような反乱が起きないように、朝廷がある京都を監視し、さらにそれまで幕府の支配が十分でなかった西日本の武士たちを管理する必要がありました。そのために置かれたのが六波羅探題です。
問9	答え 1 六波羅探題	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、それまで支配が及びにくかった西国への影響力を強める必要がありました。そこで、かつて平氏の拠点であった京都の六波羅にこの機関を置き、朝廷の監視や西国の御家人の統率を行わせました。侍所は軍事や警察を担う幕府の機関、鎌倉府や管領は主に室町幕府で見られる仕組みです。
問10	答え 3 元	モンゴル帝国はチンギス・ハンによって建国され、その孫である第5代皇帝フビライ・ハンが1271年に国号を「元」と改めました。元は日本に対して服属を要求しましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、文永の役（1274年）と弘安の役（1281年）の二度にわたる侵攻（元寇）が起きました。
問11	答え 4 銅銭	平清盛は日宋貿易を促進するために大輪田泊（現在の神戸市）を修築しました。この貿易では、日本からは金や硫黄などが輸出される一方、中国の宋からは大量の銅銭が輸入されました。これにより、それまでの物々交換を中心とした経済から、貨幣を用いる経済への転換が始まり、鎌倉時代にかけて国内の貨幣流通を支える重要な役割を果たしました。
問12	答え 1 京都の警備などを担当する京都大番役や、鎌倉の警備を行う役目	鎌倉時代の主従関係において、御家人が果たすべき奉公には、戦時に軍勢として加わるだけでなく、平時に京都や鎌倉を警備する義務が含まれていました。京都を警備する役目は「京都大番役」と呼ばれます。石高に応じた軍役は江戸時代の仕組みであり、九州を警備する防人は古代の制度であるため、時代背景の違いに注意が必要です。
問13	答え 4 元寇が防衛戦であり恩賞として与える土地が不足していたため、生活に苦しむ御家人の借金を帳消しにさせた。	元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦であったため、幕府は敵から奪った土地を御家人に恩賞として十分に分配することができませんでした。さらに、この時期には貨幣経済が広まっており、軍費の負担で借金を抱える武士が急増していました。鎌倉幕府はこうした御家人の困窮を救うために「永仁の徳政令」を出し、御家人が売却したり質に入れたりした土地を無償で取り戻させ、借金を帳消しにする措置をとりました。
問14	答え 3 京都に六波羅探題を置き、朝廷の監視や西国の統轄を行わせた。	承久の乱で朝廷側に勝利した鎌倉幕府は、再発を防ぐために京都に六波羅探題を設置し、朝廷の監視や西国の御家人を統轄させました。